

令和7年度 第2回座間総合協議会 議事録

日時：令和7年11月25日（火） 15：45～17：00

場所：ラウンジC

参加者：加藤充洋（神奈川県立総合教育センター教育指導員）

曾根一郎（栗原地区の地域代表） 金井徳兼（神奈川工科大学創造工学部教授）

山梨彰（多文化教育コーディネーター） 廣瀬道（国際フード製菓専門学校校長）

唐川和彦（座間総合高校校長）

神野伸（副校長） 西川潤一（教頭） 松下徹（事務長）

有年大樹（キャリア支援 GL） 小川拓郎（管理運営 GL）

中沢裕美（未来企画 GL） 佐藤亮太（生活支援 GL）

棟近康平（学習支援 GL） 今井美幸（活動支援 GL） 山田剛（書記）

欠席者：窪悠久（PTA会長） 雀田晃子（栗原中学校校長）

小西伸悟（座間市立栗原中学校区青少年健全育成連絡協議会会長）

次第（司会：副校長）

1. 開会（副校長）

2. 会長挨拶：国際フェスタのリハーサルを見学し、生徒の自主的にまかせる行事運営がされていることを実感した。国際フェスタ本番を期待している。

3. 校長挨拶：来年度本校の募集人員が1クラス増となる。12月の学校説明会で本校の魅力を存分に伝え、受検生の確保に努めたい。

4. 議事

（1）上半期の取り組み・達成状況と取り組みに係る課題・改善方策について

○教育課程・学習指導について 学習支援グループ：棟近康平（学習支援 GL）

- ・開講、閉講科目の案を作成した。基本的に5名以下の科目は閉講とし、施設的に抽選せざるを得ない科目については抽選を行い、来年度の選択科目を決定していく。
- ・授業改善研修については、導入を工夫について職員をグルーピングし12月に研修を行う予定である。

質問：加藤会長 科目の抽選について思うところはあるか。

回答：抽選は心苦しいが、施設的な面で抽選にせざるを得ない。抽選を行う科目については、定期試験がない科目が多い傾向にある。

質問：加藤会長 導入に視点を向けたのはどうしてか。

回答：生徒全員が授業に取り組むことを可能にするのは「導入」であると考えたからだ。この「誰もが」という考え方を「共生社会」につなげたい。

○生徒指導・支援について 生活支援グループ：佐藤亮太（生活支援 GL）

活動支援グループ：今井美幸（活動支援 GL）

- ・生徒指導では、略装期間を近年の異常気象にあわせ「5月～10月末」とした。

- ・生徒支援では、生徒情報会議や神奈川サポートドッグ等で生徒の状況を把握し、支援が必要な生徒に対しては SC・SSW と連携を密にした。
- ・行事では、生徒が自ら考えて行動ができるように細かくステップを踏ませ、自分たちが今何をすべきかを考えさせた。同時に、生徒が活躍できる場所を提供し、継続性や達成感を味わわせたいと思っている。

質問：加藤会長 略装期間の「白のポロシャツ」のデザインはどこまでを許容しているか。また、ポロシャツについて「生徒の要望」はあるか。

回答：無地に限っている。ワンポイントやラインの許可が要望としてあがっている。

質問：加藤会長 神奈川サポートドッグを利用した生徒面談で苦労はないか。

回答：赤マークと家庭で B がついた生徒については面談をしているが、担任から人数的に大変であるという声はない。

○進路指導・支援について キャリア支援グループ：有年大樹（キャリア支援 GL）

- ・実力テストの回数を増やし、上級学校への進学に対応できるようにした。
- ・本校では年内入試で進路が決定する者が 9 割以上いるので、1 年次からそれに対応した一貫したプログラムを組んでいきたい。
- ・人気のある専門学校で、推薦につながらなかった学校が複数校あった。来年度、当該校を中心におこなう。

○地域との協働について 未来企画グループ：中沢裕美（未来企画 GL）

管理運営グループ：小川拓郎（管理運営 G サブリーダー）

- ・シチズンシップ教育では座間市議会と連携を図り、座間市内の国際的な課題について解決方法を考え取り組みを行った。
- ・防災訓練では雨天のため、「シェイクアウト」と「避難経路の確認」を行った。今後は LHR ではなく、通常授業時に防災訓練を行い、臨場感のある訓練としたい。
- ・座間市避難所開設訓練に職員 3 名が参加した。
- ・体育祭、文化祭では熱中症予防対策として PTA を通じて参加者の水分補給を積極的に行なった。次のスポーツ大会では同じく PTA を通じて「豚汁」の提供を行う予定である。

○学校管理・学校運営について 未来企画グループ：中沢裕美（未来企画 GL）

管理運営グループ：小川拓郎（管理運営 G サブリーダー）

- ・学校説明会においてリピーターを増やす工夫を行った。体験授業では 57 名が参加した。
- ・職員室前の Wi-Fi を整備し、生徒への指導を円滑に行えるようにした。

質問：加藤会長 電子黒板はいつ導入されるのか。

回答：1 月以降に導入されるが、時期は未定である。

○加藤会長より：各委員に「上半期の取り組み・達成状況と取り組みに係る課題・改善方策」について感想・意見・質問を募りたい。

質問：金井委員 AI の活用については、高校が入口になると思うが実情はどうか。

回答：レポートやプレゼンテーションの下書きに生徒は使っているようである。高校としては、自分の言葉で書いて話せる指導をしていきたい。

質問：曾根委員 教職員に火災時の訓練は行っているか。

回答：していない。

質問：廣瀬委員 新入生への服装指導で特に行っていることはあるか。

回答：10月末に年次集会で「制服セミナー」を行った。また、防寒着の規則について周知した。

情報提供：山梨委員 親の「在留資格」がなくなると、自動的に子どもの「在留資格」がなくなり、学校を辞めざるを得ない。身近に2件発生している。貴校も十分に注意していただきたい。

(2) 上半期の学校行事について：副校长

次第をもとに、体育祭・文化祭・修学旅行について説明。

(3) 不祥事ゼロプログラムの中間検証上半期について：副校长

当事者意識を持って、職員が輪番で不祥事防止研修会を実施した。また校長面談時に不祥事についてヒアリングを行った。

(4) その他：学校長

曾根委員より指摘があったが、避難訓練のあり方をより現実味をもって実施できるように考えていきたい。委員の皆さんには後日、「国際フェスタ」の案内状を送付する。

5. その他（副校长）

- ・次回、第3回座間総合協議会は3月上旬を予定している。開会日は1か月前にはお知らせするので、ご参会を願う。